

令和4年度 環境基本計画に関する施策等の年次報告
重点エコプロジェクト達成状況

	年度	A	B	C	D	E
里山保全	R4	8	3	1	1	0
	R3	5	5	1	1	1
生物多様性	R4	5	4	0	1	0
	R3	1	8	1	0	0
低炭素社会	R4	3	7	2	1	0
	R3	4	5	3	1	0
資源循環	R4	4	6	0	0	1
	R3	0	2	5	1	3
合計	R4	20	20	3	3	1
	R3	10	20	10	3	4

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林整備活動団体や事業者と連携した体験講座等の実施

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手)

① 親子などを対象にした林業体験講座の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	2講座	1講座	1講座		3講座を継続		
【内容】 農林 企業の森活動の適切な実施 【実績】 農林 新型コロナウイルス感染拡大防止のため企業の森活動は4講座が中止となり、11月に1講座を実施した。(R3:1講座)							
② 山の恵みを知ることや、山菜取り、山菜料理体験を実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	1体験	1体験	1体験		1体験を継続		
【内容】 農林 上之郷中学校において、山に関わる体験を継続して実施する。 <上之郷中学校> ・茶園除草活動 ・茶摘み、茶もみ体験活動 ・焙炉、茶話会活動 【実績】 農林 ・継続的に実施しているが、除草活動など茶園の維持に関する体験が主となっている。							
③ 里山・森林を知る散策ルートなどのリニューアル	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	実施中	実施中		継続中		
【内容】 農林 県補助事業による林道補修の確実な実施 【実績】 農林 林道谷山線の3橋の橋梁点検を実施した。(R3:1橋の橋梁補修)							

里山・森林の保全を学ぶ(担い手の育成)

④ 幼・保・小・中・高等学校での環境教育(森林環境学習含む)や生涯学習講座で里山・森林の現状を学ぶ	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	小中高で実施中	実施中	実施中		多世代の環境教育を推進		
【内容】 農林 2講座の実施 学教 全校で年間2講座を実施する。 生学 成人講座でみたけの森散策を実施する。 【実績】 農林 2講座(R3:1講座)の実施(御嵩小学校環境学習、共和中学校環境学習) 学教 6月上之郷小学校1年生こうえんへいこう(みたけの森)等 4校で12講座(R3:6講座)を実施 生学 11月にみたけの森散策講座を予定していたが、講師体調不良のため、中止となった。 10月に農林課職員による成人講座 御嵩の森林資源について学んだ。 環モ 幼保から大人までを対象とした木育講座を4講座(R3:2講座)実施した。 竹の水鉄砲作り 木のスプーンづくり 木のフォークづくり 森の色鉛筆づくり							

[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

⑤ 児童生徒を対象にした林業体験の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	2講座実施	2講座実施		林業体験を継続		
【内容】 農林 2講座の実施 学教 年間2講座を実施する。						B	B
【実績】 農林・学教 2講座（R3:2講座）を実施した。 御嵩小学校4年生・共和中学校1年生							
⑥ 里山・森林整備活動団体（事業者含む）のメンバーを増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	水21名 企2団体	水20名 企4団体	水22名 企4団体		水25名 企4団体		
【内容】 農林 1名以上の新規入隊						A	A
【実績】 農林 2名（R3:1名）の新規入隊							
⑦ 里山・森林保全の先進地で視察や体験研修を実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	1研修	代替事業の実施	代替事業の実施		1研修を継続		
【内容】 環モ室 環境都市交流体験プロジェクト（北海道下川町への派遣）を実施する。						B	B
【実績】 環モ室 北海道下川町派遣事業を中止したが、代替事業として、森や木に関する講座を6講座（R3:4講座）実施した。 竹の水鉄砲作り・木のスプーンづくり・木のフォークづくり・森の色鉛筆づくり・野草観察会・野鳥観察会							

里山・森林などの資源を活用する

⑧ 空き家などを活用した農業体験の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	実施中	実施中		事業を継続		
【内容】 農林 農業体験施設を拠点とした体験を実施						A	A
【実績】 農林 さつまいも収穫体験に加え、火おこしやドローン体験などの体験活動を行った。							
⑨ 間伐材や竹の利活用の検討（薪やスプーン、おもちゃづくりなど）	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	継続中	継続中		活動を継続		
【内容】 農林 間伐材を活用した事業の展開						B	A
【実績】 農林 水土里隊が作成した薪を中山道みたけ館、わいわい館へ提供した。みたけの森で薪づくりを開始した。							
環モ室 木のスプーン・フォーク・色鉛筆づくり講座や竹の水鉄砲作り講座を行い、木の利活用について啓発を行った。 木の利活用に関する啓発物品（マスク・ノート）を作成し、環境フェア・わいわい館マルシェなどで配布を行い、啓発を行った。							


[里山保全] みたけの里山・森林とふれあおう！

里山・森林などの現状を伝える

⑩ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 農林	各企業との協働による森林づくり活動					B	B
【実績】 農林	新型コロナウイルス感染拡大防止のため企業の森活動は4企業が中止となり、11月に1企業が実施できた。（R3:同じ）						
⑪ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教	小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。					B	A
【実績】 学教	学校の活動は随時学校HP等により行っている。ほっとみたけ3月号にはみたけの森をフィールドにした各校の環境学習を紹介した。環境フェアでは、御嵩小学校、上之郷中学校、共和中学校の取組が出展された。						
⑫ 里山・森林整備活動団体や住民から情報収集を行うとともに、里山・森林整備活動団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 農林	森林管理委員会の実施					A	A
【実績】 農林	森林管理協議会を実施した。環境フェアでは水土里隊による活動の展示を行った。						
⑬ 里山・森林への視察などを受け入れる	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	随時	0	3		継続		
【内容】 農林	林業団体1件以上の受け入れの実施					E	A
【実績】 農林	令和4年度は、鳥取県智頭町森林組合、愛知県及び豊田森林組合、北海道陸別町商工会の視察を受け入れた。						

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

希少野生生物のことを知ろう

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手) 

① 生物環境アドバイザーや有識者などと連携し、必要に応じて御嵩町版レッドデータブックの改訂を検討	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	改定版	検討中	検討中		改定版を検討		
【内容】 環モ室 レッドデータブックの改訂に向け庁内で検討する。						C	D
【実績】 環モ室 予定していた範囲まで検討を進めることができなかったため、引き続き調査研究を継続する。							
② みたけの森などで自然観察会や生き物調査などの実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	4講座	4講座		事業を継続		
【内容】 環モ室 自然観察会を継続する。カワゲラウォッチングを実施する。						B	B
【実績】 環モ室 雨天中止を除き、合計4回（R3:4回）の観察会と生き物調査を行った。 森の自然観察会2回 野鳥観察会1回 親子を対象にしたカワゲラウォッチング1回							
③ 希少野生生物などが生息する貴重な場を見て知っていただくための整備をボランティア団体（個人含む）などとともに進める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	実施中	実施中		整備を継続		
【内容】 環モ室 前沢湿地の環境改善に向けた作業を実施するとともに、経過観察を継続する。						B	B
【実績】 環モ室 6月に学識者と生物環境アドバイザーで前沢湿地の保全作業を行った。冬季に予定した不要木の除伐は、雪のため実施ができなかったが、モニタリングによる経過観察と、水量管理に必要な対応を継続している。							
④ 幼・保・小・中・高等学校での環境教育や講師派遣講座などで希少野生生物の現状を学ぶ	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	小中高で実施中	実施中	小・中で実施		多世代の環境教育を推進		
【内容】 環モ室 自然体験学習や環境学習等へ講師を派遣する。 学教 小中学校の環境学習等へ講師を派遣する。						B	B
【実績】 環モ室・学教 生物環境アドバイザーに、次の講座の講師を務めていただいた。 御嵩小カワゲラウォッチング・共和中みたけの森生物観察学習・御嵩小みたけの森生物観察学習2回							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

外来種が及ぼす影響を知ろう

⑤ 自治会と連携した外来種（オオキンケイギクやアレチウリなど）の生息調査	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	実施中	実施中		マップの更新を継続		
【内容】 環モ室 生息状況について情報収集をおこないマップを更新する。						A	A
【実績】 環モ室 自治会等から得た情報等に基づき、生息・分布状況を確認し、マップの更新ができている。							
⑥ 自治会や各種機関と連携した外来種の駆除活動の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	団体と駆除活動を実施	国・団体と駆除活動を実施		自治会と連携した活動を実施		
【内容】 環モ室 国交省や各種団体と連携し、駆除活動を実施する。						B	B
【実績】 環モ室 国交省等と連携してオオキンケイギクの駆除活動を行ったほか、ボランティア団体によるオオキンケイギク駆除活動も行われた。セアカゴケグモが発見された際には、県から助言を得て駆除活動を行った。							

希少野生生物や外来種の現状を伝える（担い手の育成）


⑦ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 環モ室 ささゆりまつりと環境フェアでブースを出展する。						B	A
【実績】 環モ室 環境フェアでは、生物多様性に関するパネル展示を行ったほか、わいわい館マルシェや環境フェア、その他の講座の参加者に対し、希少種保護に関する啓発リーフレットを封入したマスクを配布し、啓発に努めた。町HPでオオキンケイギク・セアカゴケグモのページを作成したほか、町広報誌での啓発も行った。							
⑧ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 環モ室 環境フェアにて関係団体がブース出展し、学校が展示や発表を行う。 学教 小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。						B	A
【実績】 環モ室 環境フェアでは、町内の環境団体による展示が行われ、複数のブースで湿地や希少野生生物等に関する普及啓発が行われた。 学教 学校の活動は随時学校HP等により行っている。ほっとみたけ3月号にはみたけの森をフィールドにした各校の環境学習を紹介した。環境フェアでは、御嵩小学校、上之郷中学校、共和中学校の取組が出展された。							

[生物多様性] 貴重な生き物のことをみんなで知ろう！

⑨ 環境保全団体や住民から情報収集を行うとともに、環境保全団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 環モ室 各団体・住民から情報を収集するとともに、各団体・住民が情報を発信する場を提供する。						B	A
【実績】 環モ室 希少野生生物保護監視員等や自治会長などの住民から希少種、外来種の状況について情報収集を行っている。環境フェアで、それぞれの団体が発表する場を確保することができた。							
⑩ 希少野生生物の保護や外来種の適切な駆除・指導ができるリーダーの養成	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	—	—	—	リーダー養成につながる自然観察会を継続		
【内容】 環モ室 自然観察会等を継続的に実施し、アドバイザー候補者の掘り起こしを行う。						B	A
【実績】 環モ室 野鳥観察会のほか、野草研究者と歩く植物観察会を2回実施し、多様な年齢層の住民が講座に参加され、住民の植物等への関心を掘り起こすことができた。							

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

ノーマイカーデー運動の推進

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手) 

① ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	21団体	22団体	22団体		26団体		
【内容】 企画	ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体が増えるよう啓発活動を行い、26団体以上の登録を目指す。					B	B
【実績】 企画	R5年2月時点で22団体の登録がある。R4年9月に工業団地連絡協議会を通じて賛同事業所を募ったが、新たな団体登録に至らなかった。関連する事業所へ個別に依頼し、確実な実績に繋げる必要がある。						
② ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体の活動実績報告を公表	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	未実施	未実施		公表済		
【内容】 企画	ノーマイカーデー運動賛同事業所・団体の活動実績報告等を公表する					C	C
【実績】 企画	賛同事業者はホームページにて公表しているが、活動実績の公表は行うことができなかった。実績報告が事業所の負担にならないような仕組みづくりと、協力の得やすい教育機関からの報告を先行しながら拡大を目指す。						

公共交通機関の利用促進

③ 小・中学校で名鉄広見線は地域にとって必要な社会インフラとの認識を高める交通環境学習を推進	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	全小・中学校で実施	一部で実施	50%実施		全小・中学校で実施		
【内容】 企画	社会見学、校外学習などで名鉄広見線を利用する。					C	C
【実績】 企画	御嵩町にある小中学校全6校のうち、3校（御嵩小、伏見小、向陽中）で校外学習等で利用していることを把握している。実施できていない小中には個別に協議する必要がある。なお、御嵩保育園、みたけ幼稚園、乳幼児家庭教育学級の幼児も校外学習等で利用している実績があり、幼少期からの公共交通についての意識醸成が後押しされている。						
④ コミュニティバスの利用者を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	25,923人 (H27)	22,259人 (実績)	23,500人 (推計)		25,000人		
【内容】 企画	御嵩町地域公共交通網形成計画の策定後、各アクションプランを進めていくことで利用者増を図り、年間利用者数：25,000人以上とする。					B	B
【実績】 企画	ふれあいバス・ふれあい予約バスのR4年度（4～9月）の利用者数は11,711人（R3同月：10,991人）となり回復傾向にある。R3年度に実施した、ふれあいバス（定時定路線）の御嵩駅のアクセス回数を増やす路線再編及びふれあい予約バス（デマンド型バス）のコンビニエーティングポイントの新設が、利用増の要因と推測している。デジタル技術の活用や福祉施策との連携など多角的なアプローチにより、自家用車から転換するための付加価値を提示できるようにする。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑤ コミュニティバスのバス停や運行ダイヤ等の見直し	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	随時	随時	随時		随時		
【内容】 企画	必要に応じてバス停の見直しやルート変更を行い、バスの利便性向上に努める。					A	A
【実績】 企画	自治会からの要望等により、R4年10月よりふれあい予約バスのバス停留所を4か所新設した。なお、R3年度に実施したふれあいバスの路線再編とふれあい予約バスのコンビニミーティングポイントの新設が、利用増に繋がっているものと推測している。						
⑥ 沿線お出かけイベントなどで名鉄広見線（定期外）利用者を増やすとともに利用プラスワン運動の推進	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	178,057人	126,726人 (実績)	152,000人 (推計)		180,000人		
【内容】 学教	全校で年間1回以上、目的地まで名鉄広見線利用を実施する。					B	B
企画	沿線お出かけイベントなどで名鉄広見線（定期外）利用者を増やすとともに、新型コロナウイルスの影響により減少した各種定期券利用者を元に戻す。						
生涯	子どもが安心して電車に乗る楽しみを体験できるよう、継続して実施する。						
【実績】 学教	上之郷小学校6年生 社会科見学（博物館明治村）等 5校で計9回（R3:5回）実施						
企画	名鉄との共働により、広見線フリー乗降と割引等のサービスを受けられる企画きっぷである「みたけ・可児散策きっぷ（4月～12月）」を販売し、1,712人（R3:434人）の利用があった。また、企画きっぷと連動した子供向けの謎解きイベントを開催し、1,374人（R3:198人）の利用があった。その他、活性化協議会のイベント等により、定期外利用者は126,417人（R5.1月時点）（R3同月時点:106,536人）となった。定期利用者確保に向けては、フリーペーパー等で補助制度の周知を行った。						
生涯	乳幼児合同家庭教育学級・各家庭教育学級で、御嵩から可児市までの移動に名鉄広見線を利用して家族学級を行った。84名参加（R3:中止）						

移動によるCO₂（二酸化炭素）排出を削減

⑦ 電気自動車の急速充電器利用者（御嵩駅前駐車場）や各企業の普通充電器の利用者を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	60回/月	109回/月	107回/月 (11月まで)		180回/月		
【内容】 環モ室	ホームページ等で周知を継続し利用者数の維持を図る。					A	A
【実績】 環モ室	107回/月（4月～11月の平均）の利用実績があった。（12月以降のデータは提供を依頼中）						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑧ 御高駅のレンタサイクル利用者を増やす	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	279人 (H26)	90	134 (1月末)		213人		
【内容】 まち	引き続き収益事業として持続可能なレンタサイクル事業を展開し、財源確保に努める					D	B
【実績】 まち	観光客の増加に伴い、観光シーズ（5,6月、10,11月）を中心に利用が増加した。1月末時点で134件（R3:86件）の利用となっている。						
⑨ 自転車移動ができる魅力ある観光地巡り旅の考案	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	ツアー動画作成	未実施		町内マップ の作成		
【内容】 まち	作成したサイクリングマップを活用し、コロナ化を見据えた周遊イベントを開催していく					B	D
【実績】 まち	サイクリングマップを広域に配布するなど周知に努めているが、イベント等の開催には至っていない。						

ノーマイカーデー運動の推進や公共交通機関の利用を伝える


⑩ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP（SNS含む）、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企画	「中山道往来」などのイベントへ名鉄を利用するよう促す・イベント告知の際に、公共交通機関の利用を推進する。・活性化協議会のイベント等を様々な媒体を活用して周知し、利用促進に効果のある情報発信を行う。・イベント「御嵩あかでんランド」内のアトラクション要素として電車を利用していただく仕組みを多く取り入れ、町内外の利用啓発を図る。					C	B
【実績】 企画	「中山道往来」においては、御嶽宿さんさん広場を受付にするなど、名鉄利用を前提としたイベント設定及びアクセス案内をしていただいた。また、「みたけの森 花あるき」「よってりゃあみたけ」では、電車来訪者に特典を付与する事業を行った。さらに、名鉄の企画である「でんしゃ旅」にて鬼岩温泉を取り上げていただき、特典を配布することで利用啓発を図った。「御嵩あかでんランド」についてはコロナ禍により未開催となった。「みたけ・可児散策きつぷ」のPRをCTKで放映いただいた。						
⑪ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企画	環境フェア等にて団体とともに、公共交通の利用を推進する情報発信および展示を行う。					B	B
【実績】 企画	環境フェアでは、環境にやさしい公共交通についてのパネル展示、赤い電車ペーパークラフト配布、フードロス対策としてイベント時の在庫であるお菓子配布を行った。中部運輸局主催の「鉄道の日イベント」において、赤い電車応援ポスター及びフォトコンテスト入賞作品の展示、100周年記念製作映画の放映を行った。						

[低炭素社会] 「移動を“エコ”に！」運動の推進

⑫ 各種団体や住民から情報収集を行うとともに、各種団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 企画	活性化協議会のイベント補助制度を周知し、各種団体がイベントを執行しやすい環境を整える・団体の集まりやイベント時に公共交通機関を利用するよう周知する・町民等による自主組織活動（御嵩あかでんランド実行委員会、名鉄広見線を守ろう会等）をHPやSNSで取り上げ、町全体が一丸となって展開していることを積極的にPRしていく。					A	A
【実績】 企画	町内及び可茂管内の高等学校に補助制度を周知し、利用促進のための啓発を行った。名鉄広見線活性化協議会も主要4種SNS（LINE、Facebook、twitter、Instagram）を運用し、積極的な情報発信をしたことに加え、SNS等に馴染みのない方々のためにニュースレターを発行（2回）し、協議会の活動を周知した。						
⑬ コミュニティバスや名鉄広見線の乗り継ぎなどを分かりやすく表示する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	改善済み	改善中		表示済み		
【内容】 企画	名古屋鉄道に対して、主に観光案内に関する有用性を説くことによりデジタルサイネージの設置について折衝を進める。					A	B
【実績】 企画	御嵩駅等でのデジタルサイネージの設置については検討しているものの、費用対効果が測定できていないことや取扱方針が定まっていないことから、設置には至っていない。他方、主たる目的である乗継を含む利用方法の分かりやすさを向上させるため、コミュニティバス利用案内動画の製作を検討している。						

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

堆肥などによる生ごみの減量化

A…100%/B…75%/C…50%/D…25%/E…0% (未着手) 

① 各家庭において生ごみの堆肥化に取り組む	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	280人	397	422		430人		
【内容】 住環	ダンボールコンポスト講習会の開催や、広報誌等を活用し周知を図る。					C	B
【実績】 住環	御嵩小学校高学年に、夏休みの自由研究用としてダンボールコンポスト作成のリーフレットを配り紹介を行った。 (R3: 講座の開催自粛) 広報誌ほっとみたけで、コンポストの案内を広く行った。						
② ダンボールコンポストなど堆肥化する機器の普及 (補助金の活用)	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	280人	397	422		430人		
【内容】 住環	生活環境施設補助金の交付件数を25件を目指す。					B	A
【実績】 住環	1月末で25件 (R3:24件) 交付した。(ダンボールコンポスト7基、設置型コンポスト6基、電動式生ごみ処理機8基、剪定枝葉粉碎機3基、堆肥化密閉容器1基)						
③ 料理教室やエコクッキング講座の実施	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	年1回 20人	0	0		40人		
【内容】 住環	講座の開催だけでなく、広く周知を図る方法を検討する。					E	B
【実績】 住環	給食センター栄養士の協力を得て、広報誌ほっとみたけにエコクッキングを紹介した。(R3: 講座の開催自粛)						

グリーンカーテンづくりでエコと緑を育む

④ 各家庭や事業所においてグリーンカーテンづくりに取り組む	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教 環モ 住環	＜上之郷小学校＞ ・グリーンカーテン作り (4年生) 節電チャレンジの実施項目の一つとして取り組みを呼びかける。 プランターでおかわかめの緑のカーテン作り講習会を定員40名でわいわい館等で開催する。					C	B
【実績】 学教 環モ室・住環	みたけの森での里山環境学習等に力を入れ、未実施となった。 生活学校と共催でグリーンカーテンづくり講座を開催 (R3: 開催自粛) するとともに、苗木の配布を行い、家庭でのグリーンカーテン作りを支援した。節電チャレンジ実施世帯の内、86.7% (R3:52.6%) がグリーンカーテンやすだれ等による日差しのカットを取り入れ、エコ活動を実践した。						

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

⑤ 住民と行政の協働により公共施設にグリーンカーテンなどで空間の緑化を実施する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	12施設 (全28施設)	実施	実施		公共施設にて実施		
【内容】 環モ室・住環 公共施設でグリーンカーテンの働きかけを継続するほか、公共施設で個人向けグリーンカーテンの普及啓発を行う。						D	B
【実績】 環モ室・住環 公共施設でアサガオの種を500セット配布し、個人向け普及啓発を行った。役場本庁舎でクリーンカーテン作りを行い、採取した種を来年度に配布することを検討している。							
⑥ グリーンカーテンコンテストや育った食材で作るお料理アイデアの募集	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	未実施	未実施	未実施		イベント実施済み		
【内容】 住環 グリーンカーテン作りに取り組める講座を開催する。						E	E
【実績】 住環 積極的にコンテストや育った食材で作るお料理アイデアの募集はできなかったが、給食センター栄養士の協力を得て、広報誌ほっとみたけにエコクッキングを紹介した。							
⑦ グリーンカーテンと節電などでCO ₂ 排出量削減を目指す	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	52.6%	86.7%		60% 取組実績		
【内容】 環モ室 節電チャレンジの継続と実施世帯の増加を目指す。						C	A
【実績】 環モ室 節電チャレンジを2回実施し、夏147世帯 (R3:168)、冬181世帯(R3:127)世帯の参加があった。昨年より33世帯の増となった。夏の取組み実績のうち、グリーンカーテンやすだれなど、日射への対策をした家庭は86.7%(R3:52.6%)だった。							

ごみの減量化やグリーンカーテンの有効性を伝える

⑧ イベント開催時にPRブースなどを展開し参加者への周知を行うとともに町広報紙やHP (SNS含む)、CTKなどを活用し、広く周知する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年評価	本年評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 住環 環境フェア等でごみ減量のPRを行う						C	A
【実績】 住環 環境フェアにおいて、リユース食器を配布し、ごみを減量した。(R3:環境フェア中止により未実施) 広報誌、ほっとみたけで、ごみの減量とリサイクルについて、PRを実施。							

[資源循環] 生ごみ減量と緑を育む運動の推進

⑨ 各種団体や各学校などが活動成果や学んだことを環境フェアなどで発表する	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 学教 小中学校の環境学習のまとめを環境フェアなどで展示または発表する。 住環 団体の活動成果を環境フェアなどで発表する。						B	A
【実績】 学教 学校の活動は随時学校HP等により行っている。ほっとみたけ3月号にはみたけの森をフィールドにした各校の環境学習を紹介した。環境フェアでは、御嵩小学校、上之郷中学校、共和中学校の取組が出展された。 住環 生活学校が廃油石鹸やリサイクルステーションの運営に関する展示を行った。							
⑩ 各種団体や住民から情報収集を行うとともに、各種団体や住民がそれぞれの手段で伝え広める	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	—	—	—	—	—		
【内容】 住環 各種団体と協議し、周知を図る						E	B
【実績】 住環 松野湖クリーン作戦、可児川クリーンキャンペーン、環境フェアを実施、各種団体等が、アピール出来る環境を整えた。							
⑪ 環境モデル都市として、地球温暖化や温室効果ガス削減をテーマにした作品展の開催	計画策定時	R3	R4	R5	R6成果	前年 評価	本年 評価
	未実施	—	—	—	作品展の 継続		
【内容】 環モ室 作品展の開催を継続し、環境意識の向上を図る。						C	B
【実績】 環モ室 学校の協力もいただいた結果、作品応募数は21(R3:10)作品で、前年を上回る作品応募があった。応募作品は、中山道みたけ館と環境フェアで展示を行い、児童生徒の作品を多くの方に見ていただけた。							